

美名の裏にあった家族解体の狙い

米国事情に詳しいハナコさんと、経済問題に関心のある太郎君が「男女共同参画社会」について話し合っていく内に、大きな課題があることに気付きました。



対立・闘争の過激思想

太郎… 「男女共同参画社会」と聞くと、「男女のよりよき関係が築かれる社会」との印象を持つけれど、違うのかな。

ハナコ… 「男女共同参画社会」で目指しているのは、そんな温和なものじゃないわ。その根底には、「男女」を対立・闘争関係とみる「フェミニズム（女権拡大主義）」の思想があるの。美しいものには棘があると言うじゃない。

太郎… 「男女を対立関係でとらえる」って、どういう意味なんだい。

ハナコ… 簡単に言えば、女性は男性によって不当に抑圧されてきたという決め付けね。女性差別の根元は、「男は仕事、女は家庭」という固定的役割分担意識にあり、それは社会的に作られたものだから、あらゆる慣行や制度を変えよ、という文化大革命的発想なの。「男らしさ、女らしさ」を否定するのもそのためよ。

「性別格差＝性差別」論

太郎… 男女共同参画社会になったら、どんな社会になるんだい。

ハナコ… まず教育が歪むわね。フェミニスト先進国の米国の事例では、高校の教科書に、南北戦争で活躍した三人の「看護婦（女性）」の写真は載せても、北軍を勝利に導き、後に大統領になった「格蘭ト將軍（男性）」の写真は載せないといった具合。企業では、石油会社「テキサコ」のように、職種内容など関係なしで、単に男女の賃金差があるというだけで多額の賠償金を要求されることになるでしょう。結果の平等が労働意欲や社会活力を無くすのは、旧ソ連の失敗を見れば分かりそうなものだけだね。

太郎… フランスで議員の候補者数を男女同数にする法律が作られたけど、「男女平等」＝「男女同数」との発想が欧米では結構根深いらしいね。

ハナコ… 米・マサチューセッツ工科大学で「科学分野での男性教授の数が女性教授より多い」という論文が出て、マスコミが大々的に報じたことがあるの。事の発端は、大学への要求が受け入れられなかった女性教授が、同僚の主観的不满を集めて発表したのが実態。待遇差は、地位や経験、実績など様々な要因によるものだから、性差だけで結論づけることこそ非科学的よね。この「性別格差＝性差別」の図式を法外化しようというのが、男女共同参画でもあると言えるわね。

女性への差別優遇は歓迎？

太郎… 男女では適性に違いもあるよね。

ハナコ… 米国で、知能テストの性差研究をした結果、「言語における優秀な生徒の性別比は、圧倒的に女性が多いが、数学や科学は男性が多い」「性転換療法で多量の男性ホルモンを投与された女性が著しく言語能力を低下させ、数学や科学の力が発達した」などと指摘しているのよ。脳の構造、生殖機能やホルモンの違い、興味の対象や能力の違いが出て当然よ。「男女があらゆる分野で対等に参画すべき」と考える方が非合理よね。

太郎… 「女性専用車両」など、女性優遇策には文句をつけないんだね。

ハナコ… 「男女共同参画」は、女性が男性に抑圧されてきたという発想だから、「女性優遇」策は歓迎という考えね。でも、採用・昇進の女性優遇が、優秀な男性の職を奪うのは確実ね。米国には、女性や黒人など、少数派を一定水準まで雇用・入学させる「アファーマティブ・アクション（少数民族雇用優遇措置策）」があるけれど、結果的に少数民族の白人が不平等に扱われるために、廃止した州も出てきているの。それぞれの性が、自然から与えられた能力を発揮してこそ真の男女平等だと、私は思うな。

「男＝加害者」の決め付け

太郎… 共同参画では「ドメスティック・



バイオレンス（家庭内暴力）」を殊更に強調するけれど、違和感があるな。

ハナコ… 家庭内暴力を取り上げているのは、暴力を無くすことよりも、「男性によって女性が抑圧されている。その抑圧機関が家庭だ」という告発が主目的だから、「男性＝加害者、女性＝被害者」が大前提という訳ね。本当に困っている人への救済が二の次になるかもね。

太郎… 最近は、暴力を振るう女性も増えているように思うな。

ハナコ… 米国の研究でも、「暴力をふるう比率は、妻と夫では、ほぼ同じ」「家庭内で女性は男性と同じ程暴力的」「同性愛者間でも、異性愛者間と同じ比率で暴力が行われている」といった結果や統計があるんだけど、こうしたフェミニストにとって不都合な情報は、なかなか公表されないって聞いたわ。

女性の経済的自立の代償

太郎… 男女共同参画の根底に、家庭否定の思想があるというのは問題だね。

ハナコ… 共同参画社会では、事実婚や同棲、シングルマザー、同性愛など多様な家族形態を認めるべきだと言っているけど、それは結婚制度を風化させ、離婚を増加させるでしょうね。離婚率や婚外子の増加は、犯罪発生率の増加と連動するというのは常識よね。「女性の経済的自立」の代償に、家庭崩壊、犯罪多発があることを自覚すべきだと思うな。

太郎… 社会思想家のフクヤマが著書の中で、「労働人口の減少対策として、外国人労働者の受け入れと、女性の就労を促進することがある。日本は後者を選択するだろうが、そうしたときに、家庭の安定が崩れ、日本も欧米と同じ社会問題に直面することになる」と予測している。人間関係の最小単位は家庭だし、家庭は文化を共有する最小の社会だろう。家庭の崩壊は社会の崩壊と知るべきだよ。

夫婦別姓推進も同根

ハナコ… 「夫婦別姓」も問題よね。

太郎… 夫婦別姓が、最終的に「結婚制度の否定」「家族解体」を狙いとしていることは確かだから、共同参画の発想と同根と言えるだろうね。要は自分だけが大切という利己主義の奨励だよ。

ハナコ… 家族再建に取り組む欧米の流れから言えば、共同参画こそ「グローバルスタンダード（世界標準）」に反するわ。

太郎… 人は、絆や一体感が結ばれた家族があってこそ、道徳観念や精神的な安定を培うことができるんだ。家族の解体は、国民を人格喪失、精神的不安に陥れ、社会秩序の混乱を招くだけだ。家庭を守ることに立ち上がらないと大変な世の中になると実感してきたよ。